

地域に魅せられて

い やま みどり
居山 翠さん



東京の大学で学んだという居山さんは、故郷滋賀の魅力を再確認。現在は、市内で国籍や背景を超えて交流できるような居場所作りのため、市民活動団体「鹿深deござれ！」の代表として活躍されています。

◆なぜ滋賀に戻ってこられたのですか？

東京はすごく楽しい魅力的なまちでしたが、この街に住んでいた4年間で、故郷の素晴らしさを再確認させてくれたからです。SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)などを通じて、地元の人と滋賀の話をしていくと戻りたくなったんです。

◆では、なぜ甲賀市を拠点に選ばれたのですか？

滋賀で最初に仕事を担当させていただいたのが甲賀市周辺だったこと、まちづくりの塾に入った時に甲賀市を拠点に活動するグループに入ることが理由ですね。これ以外にも、プライベートから仕事まで色々な縁が私をこのまちにつないでくれているのだと感じています。

◆今はどんな活動を？

お仕事などをキッカケに移住してこられる方、そしてその中に外国籍の方もいらっしゃるこのまちで、「多文化共生」をテーマに互いの文化を尊重しながら交流できる機会を作ろうと、「山登り」や「ダンス」などのイベントは開催してきました。来年度からは拠点を設けて、より地域密着の活動へと進化していくべく準備中です。

◆活動の未来をどのように描かれていますか？

活動を始めて約1年が経ち、ようやく地域が見えてきたのが現状です。そして、フィールドワークを通じて、地域の営みなどへ入る事にハードルを感じる方がいることを知ったので、色んな立場の人がつながれる場を作ればと思います。

また、このまちを良くしていきたいと思っています。人を求めて、つながっていききたい。そして、どんな人もお互いに気軽に挨拶ができるようなまちを思い描いて活動をしています。

興味のある方は、ご一報ください。
「鹿深deござれ！」フェイスブックページ
<http://www.facebook.com/gozare>



▲活動の一幕

美容師体験で仕事の楽しさを

生き方学習「美容師体験授業」



▲仕事に必要な「哲学」も学ぶ

かげで一つずつ動作を体験し、うまくできると他の児童から歓声があがっていました。また、仕事道具をとて大切にするなど仕事に打ち込むために必要なことを学び、ある児童は「思ったより難しい。けど、それと同じくらい楽しかった」と初めての体験に満足そうに話していました。

生き方学習「美容師体験授業」が2月10日、甲南第三小学校で開かれ、6年生7人が参加しました。

この授業は、同校の総合学習として実施されたものです。この日は、守山で活躍する現役の美容師の先生が、児童たちにカットの方法、髪の結い方など美容師の技術を教えるに來られました。児童たちは、初めての体験にたどたどしい手つきながらも先生の手ほどきのおかげで一つずつ動作を体験し、うまくできると他の児童から歓声があがっていました。また、仕事道具をとて大切にするなど仕事に打ち込むために必要なことを学び、ある児童は「思ったより難しい。けど、それと同じくらい楽しかった」と初めての体験に満足そうに話していました。

ライブで平和を考える

平和学習会

県平和祈念館と市が共催する平和学習会が2月16日、忍の里プララで開催され、約50人の来場者がありました。この学習会は、多くの方に戦争のことを知ってもらい、平和な社会を考えてもらうために企画され、県内の神風特攻隊員のお話、住民が出征していく時のまちの様子や家族の苦悩など戦争体験についてのお話と、県内出身のバンド「JERRY BEANS」によるライブが行われました。ライブでは、楽しい雰囲気の中にもバンドメンバーが、かつて不登校だったつらい過去の話を語り、互いを認め合うことなどを会場が一体となって考えました。参加者の一人は「車いすの人も若い人も一緒にしゃべって、感動できました。楽しいことですね」と満足そうに話していました。



▲みんな一緒にピース

元気なまちかど

自主活動団体が集結

自主活動センターさずなまつり

今回初めてとなる自主活動センターさずなまつりが2月8日、同センター内で開催され、登録団体や地域の方など300名以上が訪れました。この催しは、現在の施設を拠点に活動している36の登録団体が親睦を深め、また地域の方にも楽しんでもらうようと、同団体らが実行委員会を組織し、実施したものです。会場では、各団体の活動を描いたパネル展示、各国の食事を提供する模擬店、二胡やアコーディオン演奏などのステージイベントが訪れた人を楽しませていました。この日、催しに訪れた方は「こんなに色々な団体があるのには知らなかった。活動内容を見るのが楽しかった」と話し、市民活動に興味を持っていました。



▲活動紹介のプレゼンテーション

夜の図書館で本格的なクラシックを

信楽図書館ボランティアコンサート



▲夜の図書館に楽器の音色がこだまする

ヴァイオリンとピアノによるバレエ・コンサートが2月13日、信楽図書館で開催され、地元の親子連れやクラシック愛好家など約70人の観客が訪れました。この催しは、同図書館が主催する267回目を迎えるボランティアコンサートで、今月にはホワイトデーにもコンサートが予定されています。この日は、関西フィルハーモニー管弦楽団所属の藤原利佳さん、ピアノストの河本清子さんが静かで不思議な雰囲気醸成夜の図書館で、モーツァルトやシベリウスなどの楽曲を演奏しました。毎回このコンサートを楽しみにしているという男性は「夜の図書館で本格的な演奏が楽しめるのが醍醐味」と、静かに目を閉じ演奏に聞き入っていました。

地域と関わり学びを深める

甲南高校 総合学科発表大会

甲南高校が2月4日、忍の里プララで総合学科発表大会を行い、339人の生徒とその保護者らが発表を見守りました。同校は、平成19年に県で2例目となる総合学科設置校で、食や福祉など4つの専門系列に分かれ、それぞれ地域と関わりながら学びを深めています。この日は、土山S.A・甲南PARLストランと協働した新レシピの開発(食と健康系列)や、ヒノキの抗菌作用の研究(バイオとかがく系列)、手作り絵本による読み聞かせ(福祉と保育系列)、本格中華麺への挑戦(生物と環境系列)など4つの系列から13の発表が行われました。生徒たちは、多くの観客を前に、スクリーンに映される資料を上手に使いながら堂々と発表を披露し、観覧者の一人は「すごく立派な発表だ」と目を細めていました。



▲大勢の前でプレゼンテーション